

女性起業家という日本ではまだまだ少数だが、カンボジアでは起業家の六五%が女性である。カム・ケムラさんもその一人。今後は東南アジア全域でのビジネス展開を見据えるケムラさんに話を伺った。

「カンボジアのこの五年の成長

と変化は目覚ましいものがあります。国内の女性起業家は来年には七二%になるそうです」と流ちょうな日本語で語るカム・ケムラさんは二十七歳。カンボジアでは家業も家も兄弟で一番年下の女性が継ぐ。男も女も稼ぐのがあたりまえで国内の平均年齢は二十代中盤のため、若い女性起業家も珍しく

ない。

二〇一一年、ケムラさんはカンボジアで初めてのネイル専門サロンを開業。カンボジア国内にネイルサロンブームを巻き起こした。現在は、事業を拡大し総合美容サロンを開業し、海外と自国の起業家をつなぐアテンドビジネスも行う、日本の経済産業省の専属通訳も「勉強になるから」と続けている

る。

起業家のスタートを早めた 東日本大震災の経験

六人兄弟の末っ子として生まれたケムラさん。幼い頃から日本に興味があり十四歳から日本語を熱心に学び、十六歳からインターナショナルNGO学校で本格的に勉強。十七歳での校内スピーチコンテストの優勝をきっかけに大阪の高校に一年間留学した。

帰国して高校卒業後は、昼は働き、夜は大学に通った。在学中の三年間はインターナショナル病院

で働き、残りの一年は日本資本のカンボジアの美容院でアテンダントとして働いた。

学びながら働き経験を積んだケムラさんは、得た給料の九割を貯金した。卒業後は、カンボジアに進出予定の日本の病院で働くことを決めた。研修のため東京都内の病院に来日したものの、到着四日後に東日本大震災が発生。震災後の混乱で病院進出の話は中断し、三月下旬にカンボジアに帰国した。

震災を経験するまで「多くの仕事を経験し四十歳になったら起業して社会貢献しよう」と考えてい



「周囲の人が幸せになることが自分の幸せにつながる」という考えで、女性の雇用の創出が起業のきっかけだった

美容サロン事業拡大中 カンボジア国内を席卷

「今後は東南アジア全域で
事業を展開していききたい」